

平成29年度「長野県公営企業経営戦略」の進捗状況等について (電気事業)

資料 1-1

長野県企業局

1 経営状況等

(単位:百万kwh、百万円)

項目	平成28年度	平成29年度				平成30年度		
	決算(A)	予算(B)	決算(C)	予算との差(C-B)	前年決算比(C/A)	予算(D)	前年予算比(D/B)	前年決算比(D/C)
電力量	376	365	378	13	100.5%	353	96.7%	93.4%
経常収益(ア)	3,933	3,932	3,996	64	101.6%	3,856	98.1%	96.5%
経常費用(イ)	2,739	2,727	2,499	▲ 228	91.2%	2,827	103.7%	113.1%
特別損益(ウ)	65	—	—	—	—	—	—	—
純利益(ア-イ+ウ)	1,258	1,205	1,497	292	119.0%	1,029	85.4%	68.7%

2 達成目標

項目	目標値		平成29年度		平成30年度
	平成26年度(基準)	平成37年度	目標	実績	目標
企業局の電力量で賄える県内世帯の割合・世帯数	12.2%	12.6%	12.4%	12.4%	12.5%
発電所建屋の耐震化率 ※1	57.1% (8/14)	100.0% (14/14)	92.9% (13/14)	92.9% (13/14)	92.9% (13/14)
ダム耐震性能照査 ※2	1か所 (1/3)	3か所 (3/3)	完了 (3/3)	完了 (3/3)	—

※1 発電所建屋の耐震化

発電所の名称	実施年度	
	耐震診断	対策工事
小渋第1	H26	H27
四徳	H27	不要
裾花	H27	H28
奥裾花	H28	不要
菅平	H28	不要
西天竜	大規模改修(H29~H31)により対応	

・上記以外の8発電所：H26時点において、耐震化済み

※2 ダム耐震性能照査

(対象：企業局管理ダム3基)

ダムの名称	実施年度
高遠	H26
湯の瀬	H27
菅平	H28

3 主な事業の取組状況等

経営戦略の位置付け等			平成29年度(実績)	平成30年度(予算)	備考
経営の安定	新規発電所	横川ダム 箕輪ダム 片桐ダム	自然エネルギーの普及拡大に向け前倒し実施 ⑧ 発電所建設 設計着手 (横川 11,114千円)	発電所建設 着工 〔横川 157,229千円 箕輪 37,902千円 片桐 37,902千円〕	[H31~32債務] 1,268,006千円
		別紙2			
	老朽化対策	西天竜発電所	⑧ 発電所土木設備工事着工 (6,160千円)	発電機製作・発電所土木設備工事(747,126千円)	[H31債務] 1,442,226千円
		発電所大規模改修 春近発電所	⑧ PFI活用基本構想策定 (16,092千円) ・事業者参入及びPFI活用による効果等を検証	⑧ 環境アセス調査等委託 (50,000千円) ・配慮書・方法書作成 ・猛禽類生息調査等	県条例アセス第1種事業該当 (15,000kW以上)
平成32年度以降の新たな売電方法の検討 別紙3			【現在の契約内容(FIT以外)】 ・相手方 中部電力 ・単価 9円/kWh ・契約期間 H28.4.1~H32.3.31	現在の契約が平成31年度末に終了することから、「経営の安定」と「地域への貢献、地域との共存・共栄」を総合的に実現できる、新たな売電方法の	
地域貢献、地域との共存・共栄	電気事業利益による地域貢献 (一般会計への繰出し)	地方創生積立金	—	⑧ 400,000千円	H30~
		子どもの未来支援積立金	50,000千円	50,000千円	H28~37 総額 5億円
		省エネルギー推進支援積立金	⑧ 50,000千円	50,000千円	H29~37 総額 4.5億円
		信州の森林づくり支援事業	7,132千円	—	H27~29 総額 27,132千円
	全国高等学校総文祭長野大会への支援	—	⑧ 10,000千円		
電気事業への理解と関心の向上促進	小学生等	親子発電所体験	H29.8 高遠、裾花 28組71名	夏休み期間中 延60組程度	
	中学生	学習体験	—	⑧ 電流・電圧の計算等、実践的な学びの場を提供	
	工業高校生	職場体験 インターンシップ	H29.8~11 南発、北発 59名 ⑧ H29.8 北発管内 2日間、2名	夏休み期間中 50名程度 8~9月 3日間 5名程度	
リスクマネジメント	施設の耐震化	発電所建屋	安全確認済	安全確認済	西天竜発電所は、大規模改修時に実施
	ダム施設	高遠ダム、湯の瀬ダム、菅平ダム	安全確認済	安全確認済	
	上水槽・水圧管	集落等に近い発電所	2/4か所実施済(菅平、小渋第2発電所)	2/4か所実施済(菅平、小渋第2発電所)	春近、西天竜発電所は、大規模改修時に実施
危機管理体制の強化	【電気・水道事業課共通】		⑧ 本庁に「危機管理対策推進員(県警OB)」、現地機関に技術職の次長(危機管理担当)を配置	⑧ 施設運転管理情報共有システムの整備(600千円) ・バックアップ体制のあり方を検討	
			—	⑧ ドローン活用による危機管理機動力強化(410千円)	南信発電管理事務所に導入
人材の育成	若い世代への技術継承	指導体制づくり	⑧ 研修カリキュラム作成	マニュアルの見直し等	
		職員研修会の開催	実務研修の追加(建設計画等)	故障事例検証による研修	
技術交流の促進	隣県公営電気技術交流会		H29.8 参加者22名(6県) 運転管理・故障対応・人材育成等について意見交換	隣県6県の事業運営上の技術的課題等について意見交換	
	電力供給の安定化に資する電源開発等の研究 別紙4		—	⑧ 水素ステーション実証モデル事業(9,500千円) ・水素エネルギーの利活用のあり方の研究を推進	補助金(国)を活用

平成29年度「長野県公営企業経営戦略」の進捗状況等について (水道事業)

資料 1-2

長野県企業局

1 経営状況等

(単位:万m³、戸、百万円)

項目	平成28年度	平成29年度				平成30年度			
	決算(A)	予算(B)	決算(C)	(C-B)	(C/A)	予算(D)	(D/B)	(D/C)	
給水量 (有収水量)	末端給水	1,916	1,915	1,915	0	99.9%	1,907	99.6%	99.6%
	用水供給	2,954	2,947	2,944	▲3	99.7%	2,951	100.1%	100.2%
給水戸数	末端給水	76,442	76,795	76,995	200	100.7%	77,160	100.5%	100.2%
経常収益 (ア)		5,276	5,184	5,267	83	99.8%	5,202	100.3%	98.8%
経常費用 (イ)		4,376	4,871	4,403	▲468	100.6%	4,822	99.0%	109.5%
特別損益 (ウ)		14	0	0	0	皆減	0	-	-
純利益 (ア-イ+ウ)		914	313	864	551	94.5%	379	121.1%	43.9%

2 達成目標

目標値		平成29年度		平成30年度		
項目	平成26年度 (基準)	平成27年度	目標	実績	目標	
末端	有収率	88.4%	91.0%	89.8%	89.1%	89.9%
	基幹施設(浄水場)の耐震化率	50.0% (1/2)	100.0% (2/2)	50.0% (1/2)	50.0% (1/2)	50.0% (1/2)
	基幹管路の耐震適合率	84.6% (265.7km)	100.0% (314.0km)	87.0% (273.2km)	87.0% (273.2km)	88.0% (276.4km)
	重要給水施設に至る管路の耐震適合率	71.2% (46.1km)	100.0% (64.8km)	73.8% (47.8km)	73.8% (47.8km)	75.2% (48.7km)
	老朽管残存率 ※1 (上田~千曲間送水幹線を除く。)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
用水	「安心の蛇口」整備数	0か所	11か所 →20か所に倍増	3か所 (累計5か所)	3か所 (累計5か所)	2か所 (累計7か所)
	基幹施設(本山浄水場)の耐震化率 ※2	0.0% (0/1)	100.0% (1/1)	0.0% (0/1)	0.0% (0/1)	0.0% (0/1)
	管路の耐震適合率 (送水幹線を除く。)	76.9% (37.2km)	100.0% (48.4km)	82.1% (39.8km)	82.1% (39.8km)	84.7% (41.0km)

※1 長寿命化工事の実施により、老朽管を生じさせない。

※2 本山浄水場の全ての浄水施設が耐震化された時点で100%とする。
暫定率(投資済み類型額÷投資予定合計額):H30目標 52.7% (H29実績:35.5%)

3 主な事業の取組状況等

経営戦略の位置付け等		平成29年度 (実績)		平成30年度 (予算)	
経営の安定	有収率向上対策の推進	新	漏水調査機器の整備 (2,484千円:川中島) 技術職員によるワーキンググループの設置	新	漏水調査機器の整備 (2,484千円:上田) 技術職員によるワーキンググループの開催
	耐震化対策	末端	施設	諏訪形浄水場浄水池増設工事、小松原配水池耐震補強工事 (355,417千円) [H30債務 210,000千円]	諏訪形関連工事 (新) 諏訪形配水池ほか、千曲川水管橋、原峠配水池 計5か所 (189,000千円)
			管路	鋳物師屋1工区送配水管布設替工事等 9箇所 (2.8km) (535,358千円) [H30債務 473,000千円]	鋳物師屋1工区送水管布設替 等 6箇所 (3.2km) (506,603千円)
	※リスクマネジメント共通	用水	施設	本山浄水場浄水池耐震補強工事 (150,000千円) [H30債務 149,000千円]	本山浄水場浄水池耐震補強工事 (150,000千円)
			管路	片丘支線管路耐震管敷設工事等 3箇所 (2.1km) (210,895千円) [H30債務 40,000千円]	並柳支線管路耐震管布設 等 2箇所 (1.2km) (190,269千円)
	老朽化対策	末端	老朽管更新 (6.7km) 等 (567,469千円)	老朽管更新 (2.2km) 等 (794,748千円)	
用水		情報伝送装置取替工事等 9箇所 (357,253千円)	送水施設水質監視装置取替工事等 4箇所 (151,095千円)		
地域貢献、地域との共存・共栄	天龍村の簡易水道に係る事務の代替執行 (過疎自治体の水道施設整備への支援) 別紙5	新	天龍村篤巣簡易水道更新事業 (H29.4~) ・設計積算、関係機関との調整、工事監督等の実施 ・南信発電管理事務所土木職員1名配置 ・事業費:36,789千円 (0.79km)	天龍村篤巣簡易水道更新事業 ・設計積算、関係機関との調整、工事監督等の実施 ・南信発電管理事務所土木職員1名配置 ・事業費:32,400千円 (0.45km)	
	高齢者元気応援システム (Active Seniors Assistance System) 別紙6	新	実証実験の実施 (2,711千円) ・実施地域 坂城町 ・開始時期 H29.9~ ・申込戸数 37戸/100戸 (H29.3末現)	実証実験の実施 (2,706千円) ・実施地域 坂城町 ・実験時期 H29.9~H31.3 ・目標戸数 100戸 (H29~H30)	
	「川中島の水」ペットボトル水の活用		「モンドセレクション2017」最高金賞受賞 (2年連続) ・500mlペットボトル18,000本製造 ・備蓄、信州DC、イベント等に活用	「モンドセレクション2018」最高金賞受賞 (3年連続) ・500mlペットボトル14,000本製造 ・備蓄、オリンピック・パラリンピックプレキヤンブ、	
	漏水調査機器貸出しによる市町村の有収率向上支援 別紙7		—	新 漏水調査機器の貸出しによる技術支援 ・市町村数 最大4市町村 ・貸出台数 2台 ・貸出期間 平成31年1月~3月	
	業務の共同化・連携		(末端) 3市1町と「水道事業運営研究会」での将来の広域化を見据えた検討 (用水) 2市1村と「県営水道事業形態検討会」での検討	—	
リスクマネジメント	関係市町村との共同・連携の推進	新	災害時連携協定の締結 (末端:H29.7、用水:H30.1) 「災害時連携協定」に基づく合同訓練を実施し、課題を検証	— 「災害時連携協定」に基づく合同訓練を実施 (前年度の検証結果を反映)	
		新	災害時に受水市村が、企業局施設(送水調節施設)から直接給水を行う施設を整備 ・送水調節施設等の配管改修 (10か所) ・接続ホース (10本)、給水タンク (1基) ・組立式応急給水栓 (5基)	—	
	「安心の蛇口」の整備	新	3箇所 (長野市、千曲市、坂城町) (4,419千円) ・熊本地震 (H28.4) の発生を踏まえ、H37目標整備数を11か所から20か所に倍増し、前倒し整備	2箇所整備 (千曲市、上田市) (2,945千円)	
社会への環境貢献	【電気・水道事業課共通】危機管理体制の強化	新	本庁に「危機管理対策推進員 (県警OB)」、現地機関に技術職の次長 (危機管理担当) を配置	新 施設運転管理情報共有システムの整備 (600千円) ・バックアップ体制のあり方を検討	
	建設現場への週休2日導入及び女性活躍応援事業 別紙9		—	新 週休2日による標準工期、経費率の設定 新 女性が働きやすい建設現場の確保 整備内容: 専用トイレ、更衣室、洗面台	